

令和5年度鹿児島学習定着度調査結果分析

鹿児島市立吉田小学校

各教科の分析（課題及び今後の取組等について）

5年生を対象に実施した「令和5年度鹿児島学習定着度調査」の結果をお知らせします。実施前には、過去の問題等を活用して復習を行いました。

【国語科】

「書くこと」に課題が見られた。そこで、文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けてかけるようノート指導及び日記指導を行いながら定着を図りたい。また、資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現の工夫ができるよう、社会科など他の教科でも関連付けながら、資料を読み取ってどこに着目すればよいかを確認しながら学習指導に努めたい。

【社会科】

「農業」・「水産業」の学習に課題が見られた。資料やグラフから正しい情報を読み取ることができるよう指導を徹底し、数値だけでなく単位も意識させる指導に努めたい。また、基礎的な知識を確実に習得できるようナビマ（デジタルドリル）や単元テスト、家庭学習等での定着を図りたい。

【算数科】

「数と計算」・「図形」の学習に課題が見られた。単用量あたりの計算及び計算の決まりについて確実に理解できるよう、文章問題を絵や図で表したり、図形問題では図形に線を書き込んだりすることで解決できるよう指導に努めたい。また、問題文の読み取りが把握しやすいように大事なところに線を引く指導もあわせて指導していきたい。ナビマ・単元テスト・家庭学習で繰り返し問題を解き、学習の定着を図ることが大切である。

【理科】

「物質・エネルギー」の学習に課題が見られた。金属や鉄の性質、実験を通した水の温度と水の状態について基礎的な知識及び実験の結果等についてナビマや単元テスト・家庭学習で定着を図るとともに授業時の実験や結果をタブレットに保存し、いつでも確認できるような手立てを行いたい。

全体として文章問題や、資料やグラフの読み取り、問題の把握等に課題がみられた。ナビマ・単元テスト・家庭学習で繰り返し問題を解き、学習の定着を図るとともに、今後も1人1人の課題を捉え、個に応じた指導に努めていきたい。